



医療法人徳洲会

館山病院

館山病院の理念

“生命だけは平等だ、を基本理念とし、
「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」を目指します

Vol.12 2023年 1月15日

館山病院広報誌
発行：館山病院
〒294-0045 千葉県館山市北条 520-1
TEL.0470-22-1122 (代)
制作：館山病院 広報委員会
タテマガ編集室

Tateyama Hospital Magazine

Contents Cover 新年のごあいさつ 館山病院 院長 P.2 新年のごあいさつ

旧年中はお世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます
2023年1月



院長新年のご挨拶



館山病院 院長
竹内 信一

新年を迎えて

皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症に振り回され、当院でもクラスターを経験した大変な一年となりましたが、職員の皆さんの感染に対する対応・行動には頭が下がる想いで心から感謝しています。

一方で館山病院は職員皆の悲願であったリゾートホスピタルが完成、2022年6月1日には新病院が開院、また、10月からは介護老人保健施設たてやまの建築も始まり、ハード面ではフルスペックの状態へ向かっています。今後はソフト面の構築、とりわけ人員の投入、育成が急務となります。しかも人は材料である人―「人材」ではなく、財産である人すなわち「人財」が必要です。今年の最重要課題と位置付けていますので皆さんよろしくお願ひします。

なお、今年の干支は卯年―ウサギ年でピョンピョン跳びはねることより飛躍する象徴の年なので館山病院の完成型を目指して職員一同、一致団結して皆で頑張りましょう。



**ご不便をおかけいたしますが、引き続き当院の感染予防対策にご協力を
よろしくお願い申し上げます。ご来院やご連絡の際にホームページ等をご確認ください。**

新年のご挨拶



館山病院 副院長
佐藤 猛

新年あけましておめでとうございます。館山病院 副院長の佐藤 猛です。
昨年6月には館山病院の移転という大変大きなイベントがありましたが、全職員の協力で事故もなく無事に引越しができたことは地域住民の方々や職員一同に深く感謝しています。今年は卯年です。ウサギといえば、穏やかなおとなしいイメージがありますが、安全な象徴という意味が込められています。また、ウサギの特徴は跳躍力。飛躍や向上という意味もあります。館山病院も整形外科の手術ができるよう準備を進めています。術後のリハビリも治療の一環として、地域の皆さまに携われるようになれば大変うれしい限りです。

また、プライベートなことですが、私自身は元旦、二日と2日間かけて新宿、山の手の七福神巡り、徒歩30km程度の距離を妻と一緒に御参りしてきました。毘沙門天からはじまり大黒天、辨財天、福祿寿、寿老人、布袋和尚、恵比寿神とめぐり大変疲れましたが御朱印手帳に書置きなど貼ったりして、まるで大人のスタンプラリーのようで大変面白くとても健康的で有意義なお正月を過ごせたと思います。

1月4日より仕事は始まりましたが心機一転、今年も頑張ろうかと少しずつ気合をいれている今日この頃です。



館山病院 看護部長
辰澤 智恵

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、6月1日に新病院に移転し、新しいスタートをきることができました。これもひとえに皆様方のご支援ご協力の賜物と、深く感謝しております。

一方、新型コロナウイルス感染症のクラスターが初めて院内で発生してしまいました。感染対策を行っていても感染が広がっていき、感染力の強さを痛感しました。一時は、終息のゴールがみえず辛い時期もありましたが、他職種の方たちの協力をいただき、乗り切ることができました。新年を迎えても、インフルエンザの流行期に入り、予断を許さない状況にあります。引き続き感染対策を強化し、早期発見・早期対応に努めてまいりたいと思います。

今年は、徳洲会グループが50周年を迎える年となります。
当院も卯のように跳び跳ねて飛躍していける1年になるように精進していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



館山病院 事務長
田村 秀禎

新年あけましておめでとうございます。
昨年6月1日新病院がオープンいたしました。患者さんの療養環境も向上し、職員間動線も効率化されて連携も取りやすくなりました。災害に強い構造や感染症に対する設備、充実したリハビリ環境、手術設備も整えました。この新しい機能を持った新たな館山病院で地域医療発展の一翼を担えるよう職員一同努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

